

令和5年度入学 盛岡短期大学部 学校推薦型選抜（一般、特別） / 社会人選抜
生活科学科 試験問題の出典

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
小論文	生活デザイン	河北新報	エンカル消費の意義 みんなで考え行動に移そう	河北新報 2022年8月1日付朝刊 一部改変	河北新報社
	食物栄養学	農林水産省	第4次食育推進基本計画 令和3年3月	2021年 P5-6より 一部改変 https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/attach/pdf/210331_35-6.pdf	農林水産省

令和5年度 学校推薦型選抜（一般）
学校推薦型選抜（特別）
社会人選抜

短期大学部

小 論 文 (90分)

学科・専攻名	ページ
生活科学科 生活デザイン専攻	1～2
生活科学科 食物栄養学専攻	3
国際文化学科	4～6

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 志望する学科・専攻により問題と解答用紙が異なるので注意ください。
- 3 この問題冊子は6ページあります。なお、下書き用紙が1枚あります。
- 4 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合には手を挙げて試験監督員に知らせください。
- 5 解答は、必ず黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペン・万年筆などを使用してはいけません。
- 6 解答用紙（各学科・専攻別）には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入してください。
- 7 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入してください。
- 8 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
- 9 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りください。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

エシカル消費の意義 みんなで考え行動に移そう

認知度がようやく高まってきた「エシカル（倫理的）消費」を広め、根付かせたい。

人や地域、社会、環境に配慮した消費行動の実践である。国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」というキーワードは今、日常的に使われるようになった。この目標達成のために、われわれ一人一人ができることこそがエシカル消費と言える。

2030年までに成し遂げるべきSDGsの17項目で最も深く関係するのは、持続可能な生産消費形態の確保をテーマに掲げた目標12の「つくる責任 つかう責任」だ。

エシカル消費につながる行動は毎日の暮らし、身近な所にあふれている。それ故、「働きがいも 経済成長も」（目標8）、「人や国の不平等をなくそう」（目標10）など他の8項目にも通じる。

もはや、豊かさの象徴とされた大量生産・大量消費、大量廃棄の時代ではない。発展途上国において生産者が過酷な労働、搾取にさらされることなく、生命や健康を守って作られているかといった観点も極めて重要である。

取るべき行動は、さほど難しくない。例えば、食材を買うときは「必要な物を必要な分だけ」の食品ロス防止を心がける。購入したい日用品や衣類、宝飾品、家電などは「誰がどこで作り、地球環境に優しい製品か」などを見比べながら選ぶ。

値段や安全性、品質をはじめとする物品購入の基準に、エシカル消費という要素を加えれば世界の未来を好転させられると解釈すれば分かりやすいかもしれない。

課題は見えている。大手広告代理店の電通が3月、全国の16～79歳の2,500人を対象に実施したインターネットによる「エシカル消費意識調査2022」で名称の認知度は41.1%となり、2020年11月の前回調査24.0%から大幅に上昇した。

一方、意味まで分かっている人は6.9%（前回比1.2ポイント増）、関心度は15.3%（6.6ポイント増）と低迷する。エシカル消費の具体的な内容を知った後は、4割超が日常生活に取り入れたいと回答しており、理解の促進が行動に結び付く可能性が表れた。

調査では、エシカル消費の条件として「価格が変わらない」「メリットの明示」「高品質・高性能」「身近な店で買える」が上位を占めた。

もちろん、「つくる責任」が課される企業の取り組みも欠かせない。「耐久性がある」「被災地支援になる」といった特長や動機付けを示せば、エシカル消費への同調は広がる。企業の社会的評価の向上にも貢献するはずだ。

食品やアパレル、ファッション、宝飾品など各業界では既に、環境や人権に配慮した原材料の調達、商品作りが進んでいる。需給双方の倫理観ある行動で、持続可能な社会へとつながっていく。そんな意識を持って一歩、踏み出してみてもどうだろう。

(『河北新報』2022年8月1日付朝刊、「エシカル消費の意義 みんなで考え行動に移そう」より、一部改変)

問 本文では、「エシカル消費」を広め、根付かせたいという意見が示されている。本文の内容を踏まえた上で、「エシカル消費」を広め、根付かせるためにはどのようにすればよいか、あなたの考えを700字以上800字以内で述べなさい。なお、すでに自ら取り組んでいる事例がある場合には、その事例を具体的に挙げて述べること。

第4次食育推進基本計画の重点事項〔(3)「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進〕についての文章を読み、あとの問いに答えなさい。

新型コロナウイルス感染症の拡大前から、生活を支える多くの分野で ICT（情報通信技術）や AI（人工知能）の活用等デジタル技術の進展・普及が加速していたが、当該感染症の拡大防止のため、身体的距離の確保や3密（密接、密閉、密集）の回避が迫られる中、デジタル技術の活用は喫緊の課題となっている。

他方、こうした「新たな日常」は、在宅時間や家族で食を考える機会が増えることで、食を見つめ直す契機ともなっており、家庭での食育の重要性が高まるといった側面も有している。

当該感染症の影響は長期間にわたり、収束後も以前の生活に完全に戻ることは困難と考えられる。そのため、重点事項「(1) 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」及び「(2) 持続可能な食を支える食育の推進」に横断的に取り組むため、「新しい生活様式」に対応し、「新たな日常」においても食育を着実に実施するとともに、より多くの国民による主体的な運動となるよう、ICT 等のデジタル技術を有効活用して効果的な情報発信を行うなど、新しい広がりを出創するデジタル化に対応した食育を推進する。

一方、デジタル化に対応することが困難な高齢者等も存在することから、こうした人々に十分配慮した情報提供等も必要である。

また、「新たな日常」の中ではテレワークによる通勤時間の減少等から、自宅で料理や食事をするとも増えており、食生活を見直す機会にもなるものであることから、乳幼児から高齢者までの全ての世代において栄養バランス、食文化、食品ロスなど、食に関する意識を高めることにつながるよう食育を推進する。

（農林水産省『第4次食育推進基本計画 令和3年3月』, 2021年,

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/attach/pdf/210331_35-6.pdf>, pp.5-6 より,

一部改変)

問1 本文で示されている「新たな日常」がもたらした食を取り巻く環境の変化について125字以内で説明しなさい。

問2 問1を踏まえ、あなたが考えるデジタル化に対応した食育とデジタル化に対応することが困難な人々に対する食育を具体的に500字以上600字以内で述べなさい。